

被爆 65 周年 平和祈念の黙とうを

- 8月6日 午前8時15分 広島市 —
- 8月9日 午前11時2分 長崎市 —

広島・長崎両市は、今年、被爆 65 周年を迎えます。

昨年、オバマ米国大統領が「核兵器のない世界」の実現を目指す世界に訴え、核兵器を巡る国際情勢が大きく変化しました。本年は、4月にチェコのプラハにおいて、米国とロシアとの間で新たな核軍縮条約が調印され、「核兵器のない世界」への具体的な一歩が踏み出されているとともに、5月には核不拡散条約（NPT）再検討会議も開催され、核兵器廃絶の国際的機運が高まる中、非常に重要な年となっております。

こうした状況の中で、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現に向けて、本年も、広島市では8月6日に「広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」を、長崎市では8月9日に「被爆 65 周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」を挙げてまいります。

両市では、原爆投下時刻に、一斉にサイレンや鐘が鳴り渡り、式典会場はもとより、職場や家庭で原爆死没者のめい福と平和への願いを込めて、1分間の黙とうを捧げることにしております。



広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式



長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典

この黙とうが広島・長崎にとどまらず、全国に広がり、世界平和を願う「祈りの日」となるよう、昭和 54 年から全国の都道府県、市、特別区等に対し、住民や職員に対する黙とうの呼び掛けについて御協力をお願いしてまいりました。

昨年は 887 の自治体等に呼び掛けを行い、その後実施しましたアンケート調査の回答によれば、その約 83% の自治体等に御賛同をいただいております。これは、私どもへのこのうえない励ましと深く感謝いたしております。

本年も、都道府県、市、特別区を始め、全国知事会及び全国市長会へ広島市長・長崎市長の連名で黙とうの実施をお願いいたしております。

何とぞ、この黙とうの趣旨に御賛同いただきまして、私どもの願いである平和を祈念する黙とうの輪をなお一層広げていただきますようよろしくお願い申し上げます。

広島市長 秋 葉 忠 利
長崎市長 田 上 富 久